

福川河川改修工事に伴う一般国道2号の道路陥没について

河川課

1 要旨

福山市神島町で施工中の福川大規模特定河川工事（1工区）において、令和3年3月31日（水）10時頃、一般国道2号の歩道に路面陥没が発生した。このため、令和3年4月8日（木）に、事故原因の究明に向け、学識経験者に意見を伺うための現地調査を行った。

2 事故の内容

- (1) 発生日時 : 令和3年3月31日（水） 10時頃
- (2) 場 所 : 福山市神島町
- (3) 変状内容 : 一般国道2号 歩道路面陥没（長さ6.0m、幅2.0m、深さ1.2m）
（人身・物損被害 なし）

3 現地調査

- (1) 調査日時 : 令和3年4月8日（木） 10時30分～12時
- (2) 学識経験者 : 森脇武夫教授（広島工業大学環境土木工学科、専門分野：地盤工学）
- (3) 学識経験者の主な意見
 - ・ 立坑周辺のボーリング結果から、薬液注入工事の施工痕跡や透水試験の結果などを確認したところ、全体としては改良ができていたと判断できるが、歩道陥没事故が発生した側では、確認をしながら施工を行っていたものの、改良が完全にできていなかった恐れがある。
 - ・ 薬液注入工では基本的に管の先から薬液を出し、薬液が同心円状に広がっていくが、砂礫が多い地質のうち不均一で地下水が通りやすいところで薬液が拡散し、十分な改良体にならなかったのではないかと推測される。
 - ・ 改良が完全にできていなかったのかというところについて、標準値を用いた設計が適切かどうかを含め詳細な調査を行うとともに、薬液注入工後に改良体を確認するための試験ボーリングを行うなど、再発防止策に向け十分な検討をお願いしたい。

4 今後の予定

現地調査結果を踏まえ、工事再開に向け、早急に再発防止策の検討を進める。



一般国道2号の歩道陥没状況
（令和3年3月31日（水））



学識経験者による現地調査状況
（令和3年4月8日（木））